



北本市



ボランティアセンターだより

身近な地域のボランティア情報をお届けします。

ボランティアセンターは、“ボランティアをしたい人”と“ボランティアを必要としている人”を結び付け、その活動を支援します！

お外 de ボランティア



高校生を中心に、のべ10名が参加

秋空の下、コロナ禍でもできる野外でのボランティア活動として、【お外 de ボランティア～北本の自然を守ろう～】を実施しました（全3回、1回目は雨天中止）。サンアメニティ北本キャンプフィールド（北本市野外活動センター）、北本自然観察公園（埼玉県自然学習センター）との共催で、高校生を中心に、のべ10名が参加しました。

水辺のゴミ拾いや雑木林の下草刈りだけでなく、トラスト緑地の散策、ゴミ削減のための竹箸作り、竹飯盒での昼食作り、珍しい動植物の紹介など、楽しく学びながら、有意義な体験ができました。



例年夏休みに実施していた「ボランティア体験プログラム」ですが、今年度は、コロナ禍でもできるボランティア活動を中心に、新たなスタイルで展開しています。児童生徒の皆さんだけでなく、親子でもご参加いただけるよう工夫しながら実施していく予定です。今後もポスターやチラシ、SNS等で随時発信していきますので、くわしくは、北本市社会福祉協議会のホームページ、または、Facebookをご確認ください。

今後のボランティア募集もお楽しみに♪

おうち de ボランティア 第3弾

エコバッグ作りを実施しました



おうちでできるボランティア活動として、第1弾「手作りマスク」、第2弾「紅白玉・お手玉・ぞうきん作り」など、実用的で地域貢献となるような手作り品を募集しました。第3弾の今回は、レジ袋の有料化に伴い、「手作りエコバッグ作り」にチャレンジしました。

各自がそれぞれ自分の都合のよい時間を利用して自宅で行えるボランティア活動は、コロナ禍で人が集まることが難しい状況下でとても好評で、市内の主婦の方やボランティアグループの方々からたくさん作品が届き、25名126作品のエコバッグが集まりました。中には、市外や群馬県の高校生から、郵送や宅配便で作品が届くなど、幅広い方々にご参加いただきました。



傘を分解して作ったアイデアバッグや、袋に入れてコンパクトになるバッグなど、たくさんの工夫が見られました。



いただいたエコバッグは、「移動販売」や「買い物サロン」をしている地域の高齢者の方々や、障がい者施設などに役立てていただいています。



北本市ボランティア連絡会 主催



コロナに負けない！

クリスマスお花プレゼント

北本市ボランティア連絡会が毎年開催していた「ふれあいクリスマス」が、今年はコロナの影響で中止となり、その代わりに、市内の高齢者や障がい者の方々を対象とした、鉢植えのお花やお菓子などの配布会に変更しました。

通常の手指消毒や検温の他、時間帯を分けてご来場いただいたことで、密にもならず、100名以上の皆さまに大変喜んでいただきました。

今回のプレゼントは、シクラメンの鉢植えやお菓子だけでなく、ご寄付でいただいたハンドタオルや化粧品、脳トレ冊子、来年の干支の「丑（うし）」のバルーンアートなど、持ちきれないほどのクリスマスプレゼントに皆さんびっくり！次の再会を楽しみにしながら、笑顔いっぱいの配布会となりました。

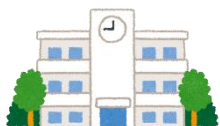


学校福祉体験



◆西小学校（車いす体験）◆

昇降口のスロープを活用し、今年は屋外で体験しました。



◆西小学校（サウンドテーブルテニス）◆

障がい者スポーツについて学び、目の見えな方と一緒にサウンドテーブルテニスの体験をしました。



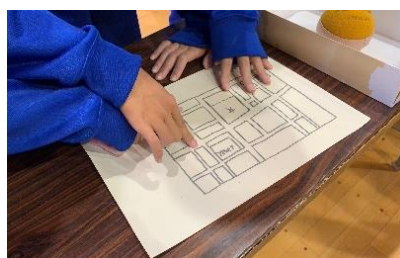
◆南小学校（車いす体験）◆

ボランティアさんと一緒に、車いすの操作や安全な扱い方について学びました。



◆東中学校（盲導犬講話・サウンドテーブルテニス体験）◆

パラスポーツや盲導犬について調べ学習をし、盲導犬ユーザーの講師の方からは、普段の暮らしやグッズの紹介、盲導犬との接し方などを教えていただきました。また、実際にアイマスクをしてサウンドテーブルテニスの体験も行いました。



◆ボクからのおねがい◆

ボクがハーネスをつけているときはお仕事だよ！

さわらないでね

名前を
呼ばないでね

食べ物と
与えないでね



◆盲導犬講話を聞いて◆

東中学校 1 年生の感想です。

・盲導犬にはさわらない、話しかけない、話しかけるならユーザーに話しかけるといことがわかりました。

・いつもどこかに行く時、頭の中に地図を書きながら行っている事にびっくりしました。盲導犬との生活についても詳しく知ることができました。

・盲導犬はかわいそうな犬だと思っていたけれど、仕事を楽しみながらやっていると聞き、安心しました。

・目が不自由な人が助を求めているなら、積極的に声をかけていきたい。その声も「こっち」「そこ」などわかりづらい言葉は避け、具体的な言葉を使いたい。そして、盲導犬がもっと世の中に受け入れられるようにしたいと感じた。





知ってる？豆知識

赤い羽根 共同募金



共同募金はなぜ赤い羽根なの？

共同募金は、1913年にアメリカのオハイオ州で初めて実施され、寄附済みの印として赤く染めた羽根を使用していました。赤い羽根は、イギリスの三銃士やロビンフッドが帽子に付けて活躍したり、アメリカでは先住民が勇者のシンボルとして冠に付けていましたね。世界中で正義や勇気の象徴として赤い羽根が用いられたことに由来し、募金という勇氣ある行動に「赤い羽根」を配るようになったそうです。

みんなが学校や駅前などで、
なにげなく募金している
「赤い羽根共同募金」について
おはなしするね！



どうして「赤い羽根共同募金」をするの？

お年寄りや障がいのある人、子育て中の人など、暮らしていくのに助けが必要な人たちが世の中には大勢います。みんなが暮らしやすくなるお手伝いをするために、みんなでちょっとずつお金を出し合って助けあうのが「赤い羽根共同募金」です。

みんなで少しずつ寄付をして集まったお金で、助けが必要な人たちのためにたくさんの人が活動に関わることができます。

「共同募金」としてまとめて募金活動をして、共同募金会が審査し必要なところに助成をしています。



ボランティアの登録状況

令和2年9月30日現在

個人登録 194名

団体登録 39団体

(会員数) 555名

合 計 749名

お知らせ

先日、市民の方から、手作りの【足踏み式消毒液スタンド】のご寄附がありました。日曜大工がお得意で、普段からいろいろなボランティア活動にご協力いただいている方です。大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



◆洗濯ボランティア募集◆

場所：北本社協デサービス
(高尾1-180)

日時：毎週水曜日 13時～14時

お問合せ：593-2961 (奥平)



各種情報を SNS で発信中！

北本市社会福祉協議会では、ホームページだけでなく、Facebook や LINE を通じて、ボランティア活動や講座案内、地域活動、イベントなどの情報をお届けしています。ぜひ、チェックしてみてくださいね。

Facebook



「いいね！」を押してね！



LINE 公式アカウントはじめました。
友だち募集中!!



LINE アプリの「友だち追加」→「QRコード」から上の QR コードを撮影して登録ください。

社会福祉法人
北本市社会福祉協議会

北本市ボランティアセンター

〒364-0034 北本市高尾1丁目180番地 北本市総合福祉センター内

TEL 048-593-2961 FAX 048-592-9442

E-mail sha-2552@mb.jnc.ne.jp